

参加費無料

四国工業研究会セミナー

環境関連技術 in 愛媛

我が国最大級の公的研究機関である
「国立研究開発法人産業技術総合研究所」の
第一線の研究者から、環境関連技術の研究成果を紹介

2025年12月16日（火） 13:30～15:55

◆開催場所

- ①テクノプラザ愛媛テクノホール（愛媛県松山市久米窪田町337-1）
- ②Web会議システムによるハイブリッド形式で実施

（申込先） https://www.aist.go.jp/shikoku/ja/news/event/shikoku_20251216-001.html

（申込期限） 2025年 12 月 9 日（火） ※会場参加のみ



※お問い合わせ先：産総研四国センター産学官連携推進室 E-mail : s-renkei-jimu-ml@aist.go.jp TEL : 087-869-3511(代表)

プログラム

・水環境浄化・水資源循環のための環境バイオ技術の最前線

環境創生研究部門

環境バイオ工学研究グループ 上級主任研究員 堀 知行

・バイオプラスチックの中の生分解性樹脂の役割と海洋での生分解性

モレキュラーバイオシステム研究部門

バイオ分子評価研究グループ 招聘研究員 中山 敦好

・プラスチックの未来を考える～リサイクルの価値向上へ～

サーキュラーテクノロジー実装研究センター

プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム 研究チーム長 渡邊 宏臣

国立研究開発法人産業技術総合研究所は、我が国最大級の公的研究機関として日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズを事業化に繋げるための「橋渡し」「社会実装」機能に注力しています。そのための体制として産総研のコア技術を束ね、その総合力を発揮する「7 領域＋量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター（G-QuAT）」があり、全国12 か所の研究拠点で約2400 名の研究者がイノベーションを巡る環境の変化やそれらを踏まえて策定された国家戦略等に基づき、ナショナルイノベーションシステムの中核的、先駆的な立場で研究開発を行っています。このセミナーでは、環境関連技術の中でも産総研での研究成果を中心に最近のトピックを紹介いたします。

（敬称略）

（1）13：30～13：35 開催県挨拶 愛媛県産業技術研究所 所長 菊地 敏夫

（2）13：35～14：20 **「水環境浄化・水資源循環のための環境バイオ技術の最前線」**

（講演40分 質疑5分） 産総研 環境創生研究部門 環境バイオ工学研究グループ
上級主任研究員 堀 知行

自然環境に生息する微生物が担う酸化還元反応は地球の物質循環や恒常性維持に不可欠です。連続的に起こる反応の一部を切り出し効率化することで、水処理や土壌浄化等に利用してきました。本講演では、微生物コミュニティを駆使した新しい水環境浄化・水資源循環技術の開発について紹介いたします。

（3）14：20～15：05 **「バイオプラスチックの中の生分解性樹脂の役割と海洋での生分解性」**

（講演40分 質疑5分） 産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオ分子評価研究グループ
招聘研究員 中山 敦好

海洋ごみ問題を背景に生分解性プラスチックが見直されています。本セミナーではどのような樹脂が生分解性を有しているのか、生分解性制御のための材料設計、上市されている樹脂の現状などとともに海洋での生分解性の評価手法、海洋での分解挙動についてもご紹介いたします。

（4）15：05～15：50 **「プラスチックの未来を考える～リサイクルの価値向上へ～」**

（講演40分 質疑5分） 産総研 サーキュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム
研究チーム長 渡邊 宏臣

プラスチック再生材の付加価値向上は、リサイクルを推進する上で重要な課題です。本講演では、材料診断技術という材料の化学特性・物性評価に基づいた「再生材の適材適所での利用推進」について、ご紹介いたします。

（5）15：50～15：55 閉会挨拶 産業技術総合研究所四国センター 所長 大石 勲